

人間は誰もが胸のなかに、宝石となる石を持っている。  
一生懸命磨いて、美しく光り輝く玉になる。

空海

空海（くうかい、宝亀 5 年（774 年） - 承和 2 年 3 月 21 日（835 年 4 月 22 日））は、平安時代初期の僧。弘法大師（こうぼうだいし）の諡号（921 年、醍醐天皇による）で知られる真言宗の開祖である。俗名（幼名）は佐伯 眞魚（さえきのまお）。日本天台宗の開祖最澄（伝教大師）と共に、日本仏教の大勢が、今日称される奈良仏教から平安仏教へと、転換していく流れの劈頭に位置し、中国より真言密教をもたらした。能書家としても知られ、嵯峨天皇・橘逸勢と共に三筆のひとりに数えられている。

